

「新潟市精神障がい者の地域生活を考える会」における今後の協議について

課 題	現 状	今後の方向性
住まいの確保や居住支援、居場所に関する検討 グループホーム等職員のさらなる資質向上、親亡き後の居住場所へ不安を抱く当事者・家族が多い、自分のペースで利用できる相談先や居場所が必要	・グループホーム職員等地域の支援者の人材育成を目的とした研修会を継続して実施【人材育成班】 ・当事者アンケート調査を実施【企画調査班】	・障がい者地域自立支援協議会精神障がい部会と連携し、課題の抽出、ニーズの把握を行う ・当事者アンケート調査の分析結果も踏まえ、必要な取り組み内容を検討する
地域の支援者と精神科病院・クリニックとの顔の見える関係づくり 地域の社会資源について病院職員の知識が不足、精神科病院等への敷居の高さを感じる支援者が多い	・研修会のグループワークで地域の支援者同士が交流・情報交換【人材育成班】 ・精神科病院において、患者や職員を対象に当事者の体験談発表等を行う交流会を開催【ピア活動班】	・研修会のテーマや開催方法、周知方法を検討し、より多くの支援者に研修参加を促す ・研修会や交流会等を通じて、地域での取組、社会資源などの情報を精神科病院等に届ける ・個別の相談支援を通じて関係機関同士の連携を深めていく
高齢者福祉関係者との連携強化 精神障がいのある高齢者や高齢家族と暮らす精神障がい者の対応に関する相談が増加傾向	・高齢家族へのインタビュー調査を実施【企画調査班】 ・令和6年度から「考える会」委員に地域包括支援センター職員と社会福祉協議会職員を追加【全体会】	・インタビュー調査の分析結果も踏まえ、必要な取り組み内容を検討する ・個別の相談支援を通じて関係機関同士の連携を深めていく